

「食ベログ」、1万人が選んだ2015年の外食トレンドを発表！

2015年の三大トレンドは「熟成肉」「グルメフェス」「立ち食い店」

2年連続トップは熟成肉！「気になった」52%、「今後体験したい」38%

今年体験したトレンド、「レストランのインターネット予約」がトップに
上陸相次ぐ「海外の人気グルメ」は、今後の体験意欲で上位に

株式会社カカコムが運営するランキングとクチコミのグルメサイト「食ベログ (<http://tabelog.com/>)」は、2015年の外食シーンにおいて話題となったメニューやトレンドに関するアンケート調査を実施しました。全国約1万人から寄せられた回答をまとめ、一部抜粋してご紹介します。

【調査トピックス】

■「熟成肉」が認知・注目・今後の体験意欲でトップ。肉ブームは続く！

その他、気になるトレンドでも、肉に関するワードが目立つ

今年も新店が続々オープンした「熟成肉」が、昨年調査に引き続き認知率（71%）、注目度（52%）ともにトップに立ちました。また、今後体験してみたいトレンドでもダントツの結果に。その他気になるトレンドを聞いたフリーアンサーにおいても「肉バル」「肉専門店」「肉フェス」といった肉に関するワードが多く見られ、熟成肉をはじめとした肉ブームは、来年以降も続くものと考えられます。

■注目度TOP3は「熟成肉」、「グルメフェス」、「立ち食い店」

注目度を見てみると「熟成肉」（52%）、近年テーマに広がりが見られる「グルメフェス」（35%）、立ち食いステーキや焼肉など新たなスタイルのお店が話題になった「立ち食い店」（33%）への注目度が他の項目に比べて高く、今年の三大注目トレンドと言えそうです。性年代別で見ると「熟成肉」は男女幅広い世代から、「グルメフェス」は20～30代女性、「立ち食い店」は30代以上の男性から注目されていました。

■体験したもののトップ「レストランのインターネット予約」！特に女性では45%が利用。

次いで「クラフトビール」「熟成肉」

今年体験したもののトップは「レストランのインターネット予約」（35%）。女性では特に体験率が高く、45%にものぼりました。また、特に「グルメフェス」「かき氷」「ジャーサラダ・ドリンク」「エスニックブーム」などは女性の割合が非常に多く、主に女性が牽引するトレンドであることがわかります。逆に、男性では「立ち食い」「ちよい飲み」「日本酒」などが女性よりも特に多い結果に。

■これから体験したいもの：「熟成肉」（37.8%）がトップ、次いで「グルメフェス」（30.6%）。

「海外の人気店」「サードウェーブコーヒー」「新感覚スイーツ」も上位に

これから体験してみたいトレンドのトップは、ここでも「熟成肉」。次いで「グルメフェス」。認知・注目・経験が高かったことに加え、今後の体験意欲も強いことがわかりました。また、「タコベル」「シェイクシャック」などが相次いで上陸して今年も話題になった「海外の人気外食専門店」や「サードウェーブコーヒー」、「新感覚スイーツ」などは、体験した人は少なめだったものの、メディアなどで目にする機会が多いことから、今後体験してみたい人は多い結果になりました。

1. 認知率・注目度：昨年同様トップの「熟成肉」に、「立ち食い店」「グルメフェス」が続く。「ネット予約」も高い認知率を獲得

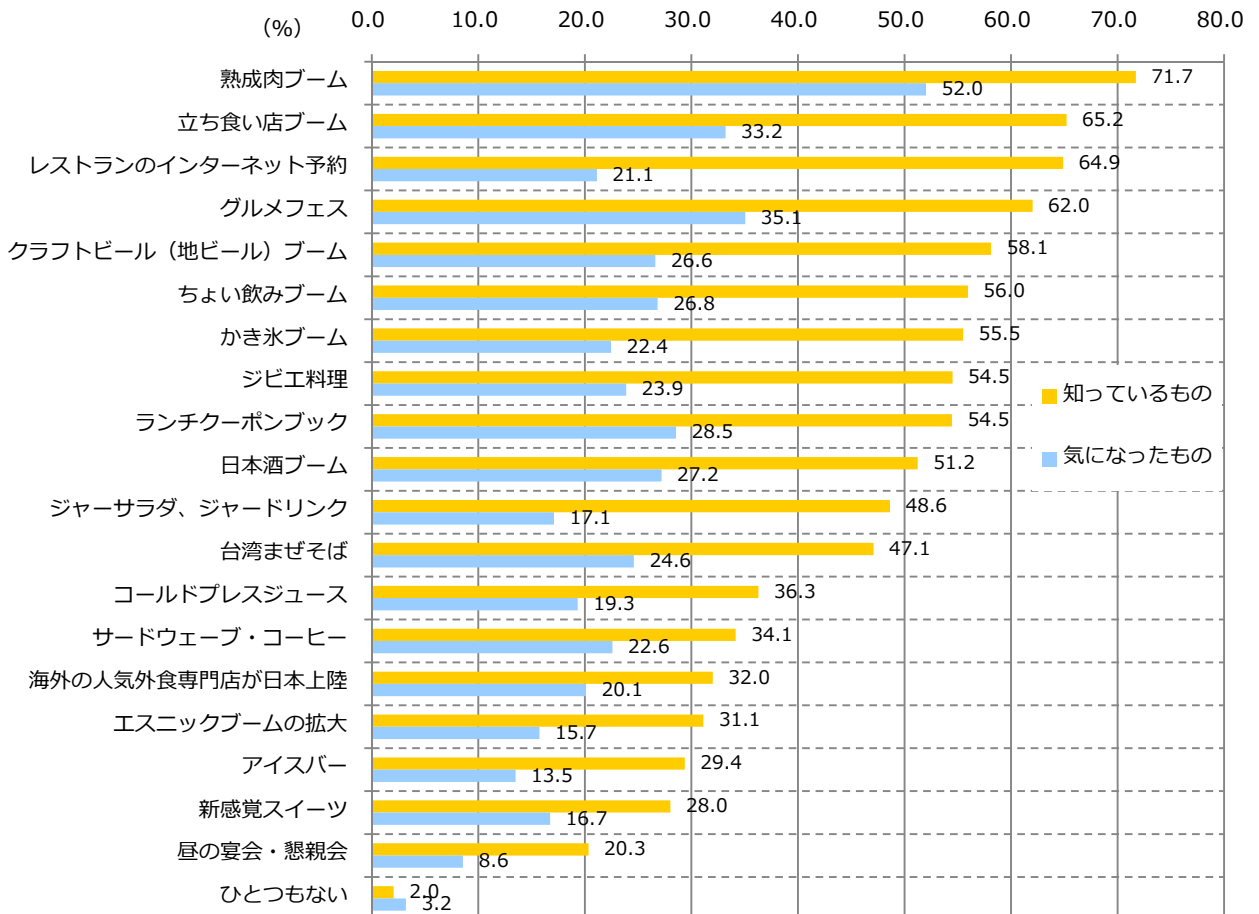
2015年に話題になったメニューやトレンドについて、まずは認知率・注目度について聞いたところ、「熟成肉」が認知率7割超、注目度は5割超。また「立ち食い店」「グルメフェス」が認知率6割超、注目度は3割超を獲得しました。認知・注目ともに高いのはこの3項目となっており、今年の大きなトレンドとして挙げる事ができそうです。

今年も新店が続々オープンした「熟成肉」は、昨年調査に引き続き認知・注目ともにトップに。「立ち食い店」は、定番となった「俺のシリーズ」に加えて、ステーキをお得な値段で食べられる「いきなり！ステーキ」や立ち食い焼肉など、新たなスタイルの立ち食い店が話題になりました。「グルメフェス」は、近年、お肉やラーメン、激辛料理、B級グルメなどテーマに広がりが見られることから、人気を得ているようです。

図1：2015年の外食トレンドについて知っているもの、気になったもの（各複数回答）

（設問文）

- ・知っているもの、聞いたことがあるものを全てお選びください。
- ・2015年に気になったものを全てお選びください。



2. 最注目トレンド：トップは男女ともに「熟成肉」。男性では「日本酒」「立ち食い店」、女性では「グルメフェス」「ランチクーポンブック」の注目度が高い結果に

「気になった」と回答したもののうち、最も気になったものを聞いたところ、「熟成肉」が男女ともにダントツの結果に。これに「日本酒ブーム」「グルメフェス」「立ち食い店」が続きました（図2）。

「熟成肉」「日本酒」「立ち食い店」は男性、「グルメフェス」「ランチクーポンブック」は女性の注目度が高い結果に（図3）。特に「立ち食い店」は30代以上の男性に注目されており、「グルメフェス」は、20代女性の注目度が飛びぬけて高いことがわかりました（図4）。

図 2 : 2015 年に最も気になったものを 1 つお選びください。(単一回答/回答者 : 9,229 人)

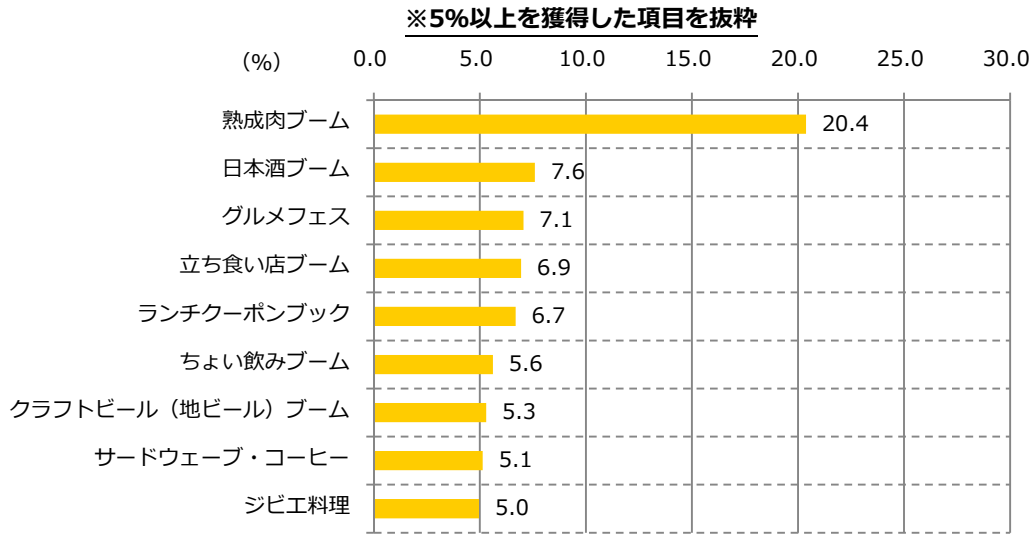


図 3 : 2015 年に最も気になったトレンド (男女別)

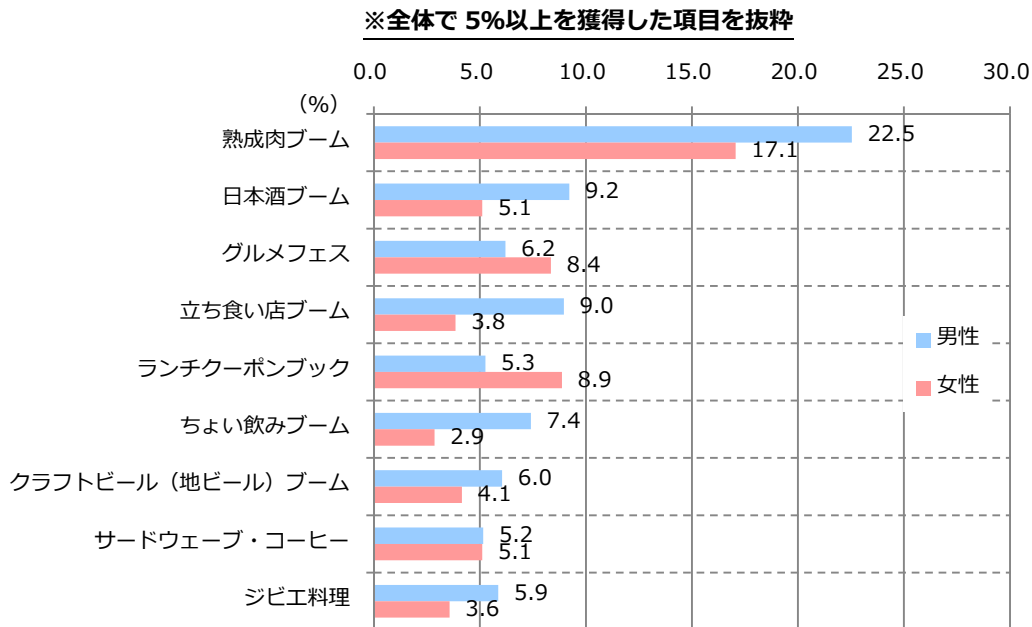
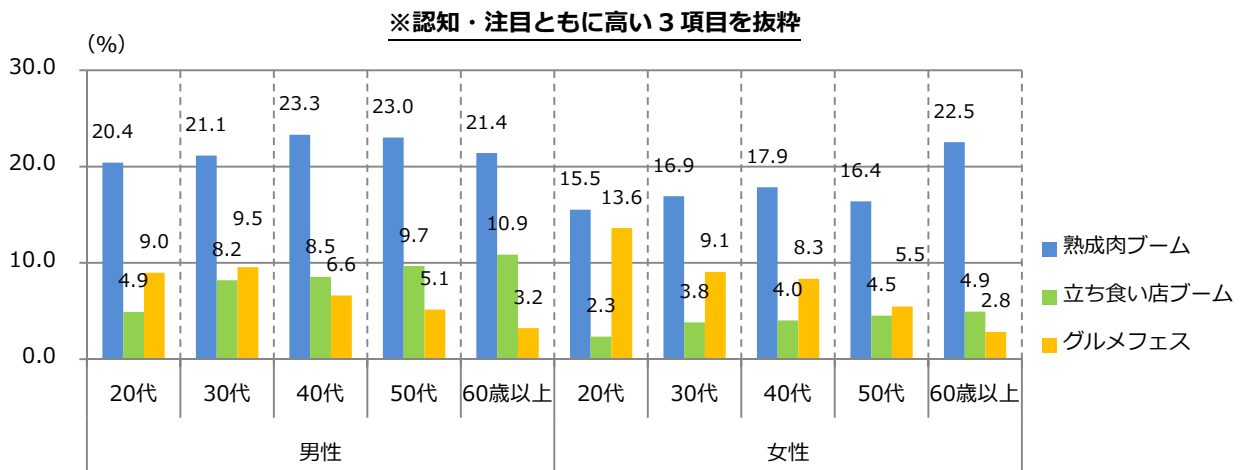


図 4 : 2015 年に最も気になったトレンド (男女・年代別)



3. 2015年に実際に体験したのは「ネット予約」がダントツ！女性では45%以上にのぼる。

「立ち食い店」「ちょい飲み」は男性、「ジャーサラダ・ドリンク」「かき氷」は女性が牽引

2015年体験したもののトップは、「レストランのインターネット予約」(35.5%)、次いで「クラフトビール」「熟成肉」が続きます。「ネット予約」は女性で45%を超え、特に浸透が進んでいる様子がうかがえます。

さらに、「グルメフェス」「かき氷」「ジャーサラダ・ドリンク」「エスニックブーム」などは女性の割合が非常に多く、主に女性が牽引するトレンドであることを裏付けています。逆に、男性では「クラフトビール」「熟成肉」「立ち食い店」「ちょい飲み」「日本酒」などが女性よりも特に多い結果に。年代別で見ると「グルメフェス」は20~30代女性、「立ち食い店」は30~50代男性に、特によく利用されていることがわかります。

図5：「知っている」と回答した項目で、2015年に実際に体験したものを全てお選びください。(男女別)

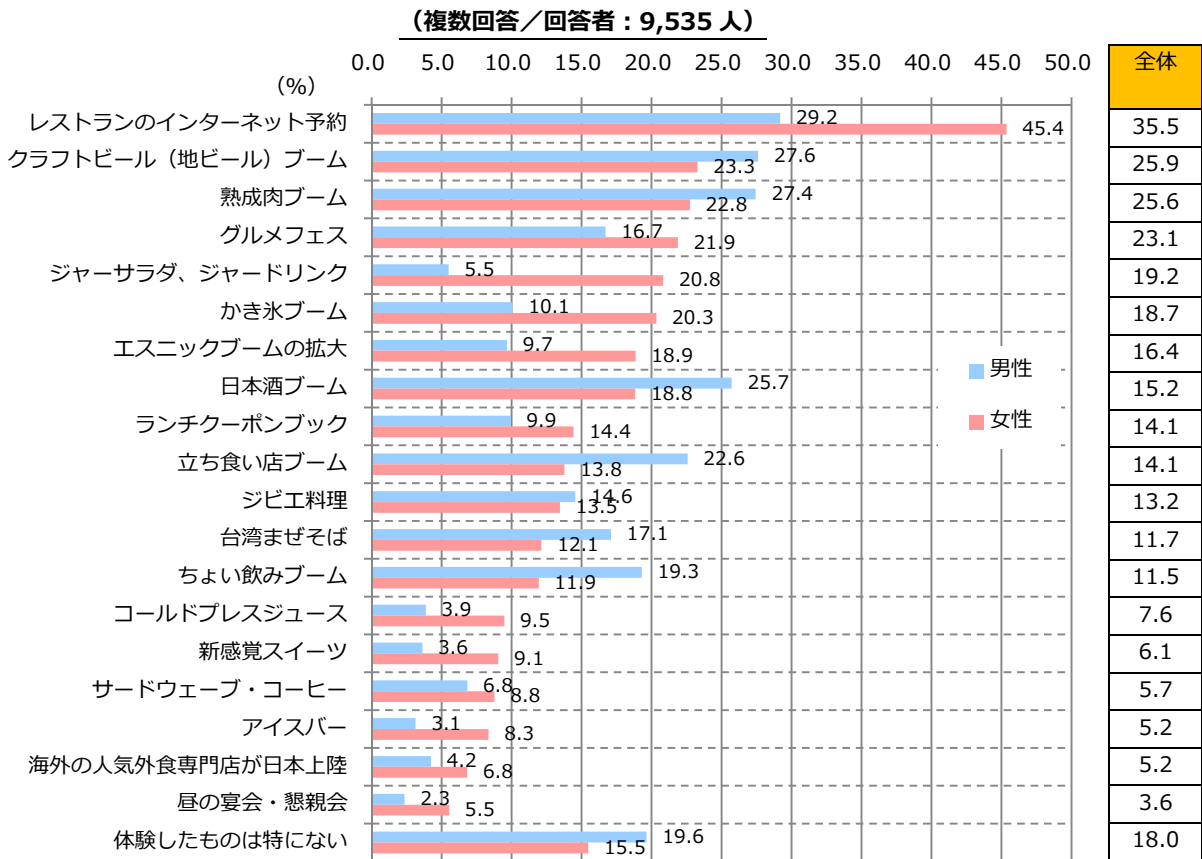
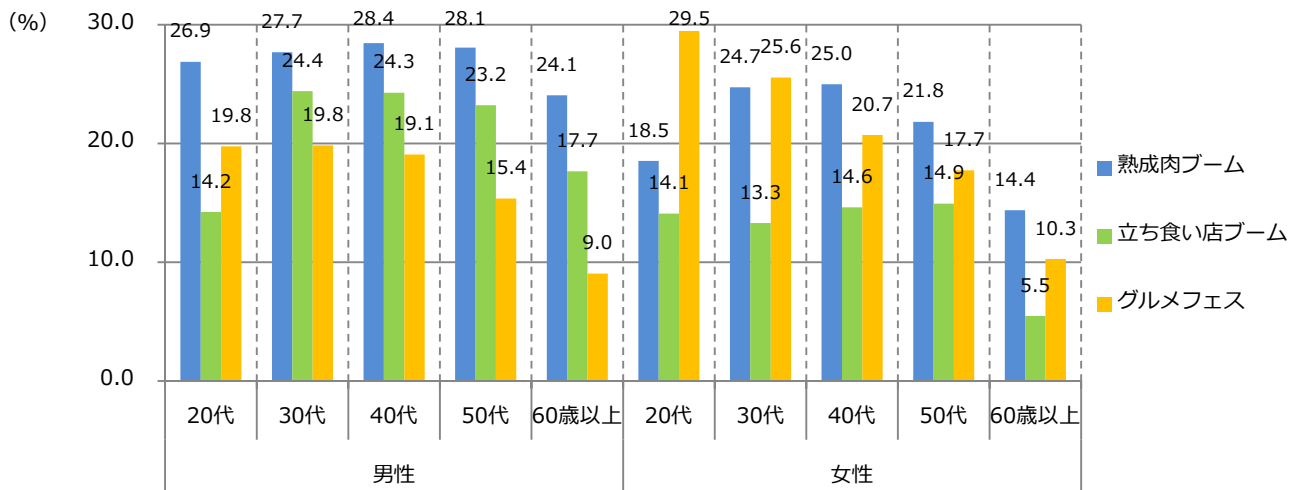


図6：2015年に体験したトレンド(男女・年代別)

※認知・注目・体験率が高い3項目を抜粋



**4. 今後の体験意欲：「熟成肉」(37.8%) がトップ、次いで「グルメフェス」(30.6%)。
「海外の人気店」「サードウェーブコーヒー」「新感覚スイーツ」も上位に**

これから体験してみたいもののトップは、ここでも「熟成肉」(37.8%)。次いで「グルメフェス」(30.6%)。認知率・注目度・経験率が高かったことに加え、今後の体験意欲も強いことがわかりました。「海外の人気店」「サードウェーブコーヒー」「新感覚スイーツ」などは、今年体験した人は少なめだったものの、メディア等で話題になっていることから、今後体験してみたいものとして注目されているようです。

「熟成肉」「グルメフェス」「海外の人気店」は男女ともに上位に。女性では「新感覚スイーツ」「コールドプレスジュース」、男性では「立ち食い店」「台湾まぜそば」が上位にランクインしました。

図7：これから体験してみたいものを全てお選びください。
(複数回答/回答者：9,734名) ※今年体験したものと比較

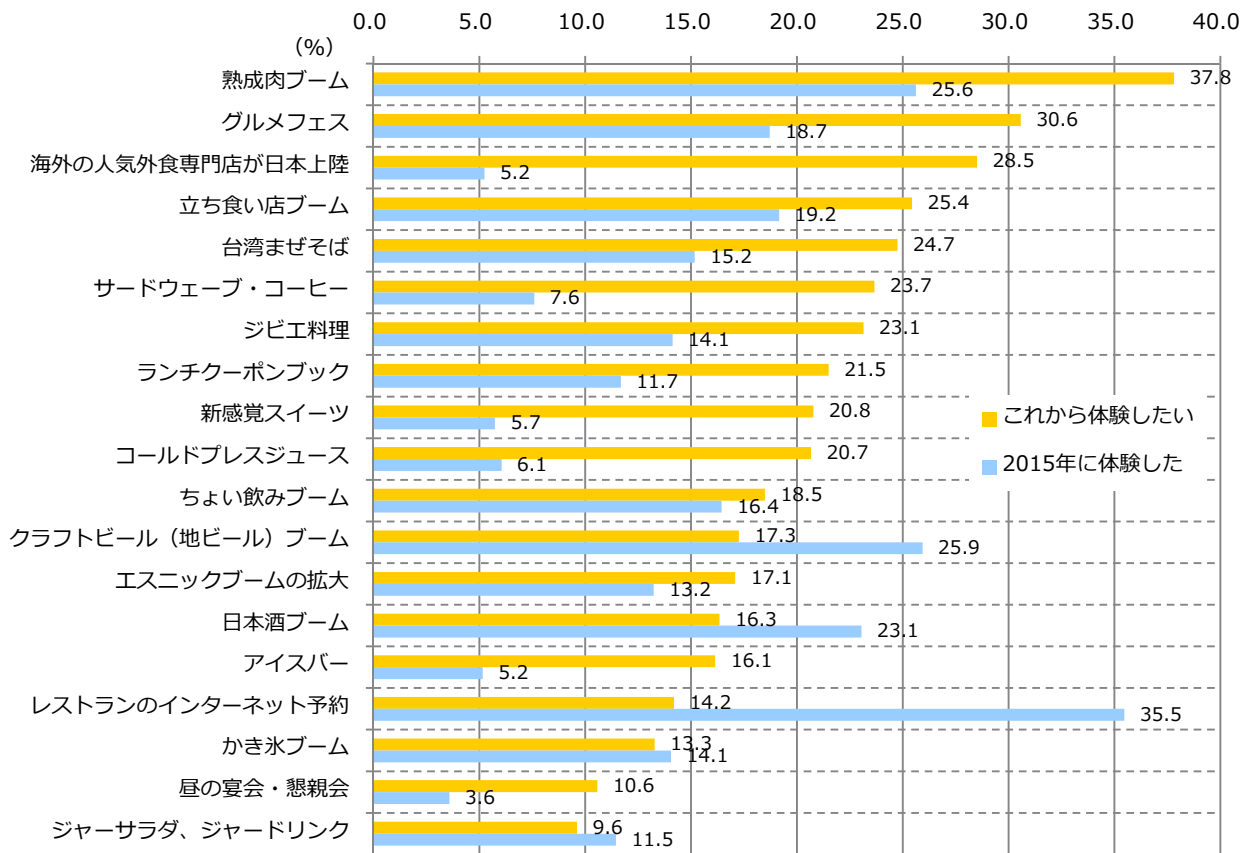


図8：これから体験してみたいトレンド 男女別トップ5

男性				女性			
順位	トレンド項目	体験したい (%)	体験済 (%)	順位	トレンド項目	体験したい (%)	体験済 (%)
1	熟成肉ブーム	38.0	27.4	1	熟成肉ブーム	37.5	22.8
2	グルメフェス	27.2	16.7	2	グルメフェス	35.9	21.9
3	立ち食い店ブーム	27.0	22.6	3	海外の人気外食専門店が日本上陸	33.9	6.8
4	海外の人気外食専門店が日本上陸	25.2	4.2	4	新感覚スイーツ	29.7	9.1
5	台湾まぜそば	24.8	17.1	4	コールドプレスジュース	29.7	9.5

【調査概要】

調査対象者：食ベログ会員

調査方法：Web アンケート調査

調査期間：2015年11月12日（木）～11月16日（月）

回答者人数：9,734人

男女比率：男性 61.5% 女性 38.5%

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が100%にならないことがあります。

【注】回答画面では、各選択肢の補足説明を提示。また、選択肢はランダム表示を行ないました。

選択肢	補足説明
ちよい飲みブーム	「仕事帰りにちよっと1杯」ファストフードやファミレスなど外食チェーンでの参入が2015年も増加。チェーン以外にも、千円でべろべろに酔える“せんべろ居酒屋”は女性層の利用も増える傾向。
クラフトビール（地ビール）ブーム	小規模醸造所が製造するビールで、多様なスタイルの珍しいビールを楽しめることで人気に。日本各地でクラフトビールを扱う飲食店や醸造所に併設したブルワリーレストランが増加、ビアフェスも多数開催。
熟成肉ブーム	時間をかけ寝かせて旨味を引き出した「熟成肉」を提供する飲食店が増加。有名牛丼チェーンやファミリーレストランでも提供されるように。赤身肉のダイエット効果にも注目が集まった。
ジビエ料理	鹿やイノシシなどの猟肉を使った「ジビエ料理」への注目度が高まり、取り扱うお店がここ数年で増加傾向。専門店だけでなく、メニューのひとつとしてジビエを取り入れるレストランも増えている。
新感覚スイーツ	パン×ジェラート、ティラミス×パンケーキなど、今年もさまざまな組み合わせスイーツが登場。「ドミニク・アンセム・ベーカリー」「プリジェラ」など海外の有名店が初上陸したことも話題に。
ジャーサラダ、ジャードリンク	メイソンジャーなどのガラス容器を使ったカラフルな「ジャーサラダ」、ストローを差した「ジャードリンク」が女性を中心としたブームに。カフェやバーなど飲食店のメニューにも登場し、人気を博した。
コールドプレスジュース	低温圧搾ジュースーを使い、素材が持つ水分だけで作るジュース。栄養価が高く、美容・健康にも良いとされブームに。昨年に引き続き、都内に「サンシャインジュース」「スカイハイ」などの専門店が拡大。
アイスバー	果物やナッツをふんだんに盛り込んだ、見た目がかわいいスティックタイプのアイスクリームバーが人気。「パレタス」や「ブオン・アモーレ」などが都内に複数の店舗をオープンした。
かき氷ブーム	今年は、こだわりのあるフルーツソースやケーキのようなかき氷など、素材を贅沢に使った「プレミアムかき氷」が流行。台湾から上陸した「アイスモンスター」や三軒茶屋の「かんな」などに注目が集まった。
エスニックブームの拡大	エスニック料理のブームがさらに拡大。認知度の高いメニューだけでなく、マッサマンカレーや、タイ東部のイサーン料理、カオマンガイなどの人気も拡大し、ココナッツオイルなどの食材も注目を浴びた。
サードウェーブ・コーヒー	豆の素材や淹れ方など工程にこだわり1杯ずつ丁寧に淹れるスタイルのコーヒー店がブーム。アメリカの人気店「ブルーボトルコーヒー」や「ゴリラコーヒー」が今年、日本に初上陸し話題に。
台湾まぜそば	名古屋発祥の汁なしラーメン。甘辛のミンチ、ニラなどの具を極太麺と絡めて食べる。最後に残った具とご飯をかき混ぜて締める。都内のラーメン店で提供するお店が増え、メディアでも話題に。
海外の人気外食専門店が日本上陸	ファストフード「タコベレ」、「ロブスターロール」の専門店「ルークス」、「モナークカップケーキ」、ミラノの老舗ピッツェリア「スポンティーニ」など、海外の人気外食店が相次いで日本にオープンし、注目された。
立ち食い店ブーム	立ち食い店「いきなり！ステーキ」が、老若男女の人気を呼び、店舗数を拡大し話題に。その他にも高回転率を活かし、クオリティの高い料理を低価格で提供するお店が増え、焼肉など幅広いジャンルの立ち食い店が人気を得ている。
日本酒ブーム	積極的な商品開発を行なう酒蔵が増え、微発泡や低アルコールタイプなど新たなスタイルの日本酒が増えたことで若者などにファン層が拡大。多様な味わいや食事との合わせやすさなどが、再評価されている。
レストランのインターネット予約	PCやスマホからレストランの予約を簡単に即時完結できる「ネット予約」の利用者が増加。レストラン側も予約管理が簡単になることから、ネット予約を導入する店舗が増えている。
ランチクーポンブック	掲載店で提示するとランチがお得に食べられる本は、サラリーマン・OLなどに定着。食ベログワンコインランチなどウェブで展開するサービスも。「スイーツ」「ラーメン」などジャンル特化型も新たに登場。
グルメフェス	グルメに特化したイベント「グルメフェス」。「肉フェス」や「激辛グルメ祭り」「まんぱく」など全国的に開催数が増加傾向。また「世界の朝ごはんフェス」など海外グルメにスポットをあてたイベントも話題に。
昼の宴会・懇親会	働く女性の増加などを背景に、オフィスの懇親会が夜ではなく昼に開催されるケースが増えた。昼の開催を後押しする企業や、昼の宴会メニューや新業態を展開する飲食店も出始め「部ランチ」という言葉も生まれた。

【食べログ (<http://tabelog.com/>) 概要】

「信頼のできるレストラン選び」をコンセプトに 2005 年 3 月開設。ユーザーから寄せられたクチコミと点数評価から、独自に設けたロジックでレストランランキングを算出し、提供しています。

- ・点数について：<http://tabelog.com/help/score/>
- ・口コミ・ランキングに対する取り組み：<http://tabelog.com/help/policy/>

掲載レストラン数は約 82 万件、クチコミ投稿数は約 1,077 万件（2015 年 12 月現在）。
月間利用者数は 6,830 万人、月間総 PV は 16 億 5,056 万 PV（2015 年 9 月実績）。

【株式会社カカコム 会社概要】

所在地：東京都渋谷区恵比寿南 3 丁目 5 番地 7 デジタルゲートビル

代表取締役：田中 実

事業内容：サイトの企画運営

当社運営サイト：<http://corporate.kakaku.com/company/service>

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「食べログ」調べ
- ・ランキングとクチコミのグルメサイト「食べログ」が実施した調査によると…